

NHKは121日間の東京オリンピック聖火リレーに同行 日本の「地域の魅力」を余すところなく伝えます

2020年3月26日に福島県のJヴィレッジからスタートするオリンピック聖火リレー。47都道府県すべてが関わり、近づく東京2020大会を実感できる一大イベントです。

移動日含め121日に及ぶリレーのルートには、日本のあらゆる魅力が詰まっています。聖火をつなぐランナーたちは、地域への熱い思いを持った人たちです。

NHKは、東京2020大会組織委員会と協力し、121日間の聖火リレーに毎日同行し、日本の「地域の魅力」を放送・デジタル・イベントを通じて余すところなく発信します。7月にお示しした「4つの約束」の柱の一つ、「日本をひとつにつなぎます。日本が世界につながります。」の実現に向けて、取り組みを進めます。

■聖火リレー・「デイリーハイライト」など多様な番組展開

3月26日のリレースタートから7月24日のゴールまですべての日程について、1日のリレーの様子を5分にまとめた「デイリーハイライト」番組を連日放送する予定です。（総合テレビ・深夜）。また聖火リレーを走り終えたランナーのインタビューや、沿道で応援する人々の声で綴るウィークリーの新番組も検討しています。定時の生放送番組でも随時聖火リレーの様子を伝えるほか、聖火ランナーやルートに焦点を当てたさまざまな特集も企画していきます。

■聖火リレー・ライブストリーミング

NHKの東京2020情報サイト内でライブストリーミングを実施します。同行撮影チームから送られてくるライブ映像を中心に、聖火リレーの様子を刻々と伝えていきます。テレビ放送では伝えきれないひとりひとりの走行シーンを配信し、「思い出に残る」コンテンツとします。

■聖火リレー・トーチ展示イベント

組織委員会の協力により「東京2020公認プログラム」として実施。桜をモチーフにした東京2020オリンピック聖火リレートーチとパラリンピック聖火リレートーチの実物を展示、一緒に写真撮影できるイベントを各地で展開します。

（すでに全国6か所で実施、今後も各地で展開予定）

東京2020 NHK 視聴者への4つの約束

(7月4日会長会見報道資料より)

1 スタジアムの興奮を日本全国で体感できます。

最高水準・史上最大規模の放送で、オリンピック・パラリンピックを余すところなく伝えます。

2 いつでもどこでも決定的瞬間をお届けします。

放送+デジタル+イノベティブなサービスで、決定的瞬間を見逃すことがないように伝えます。

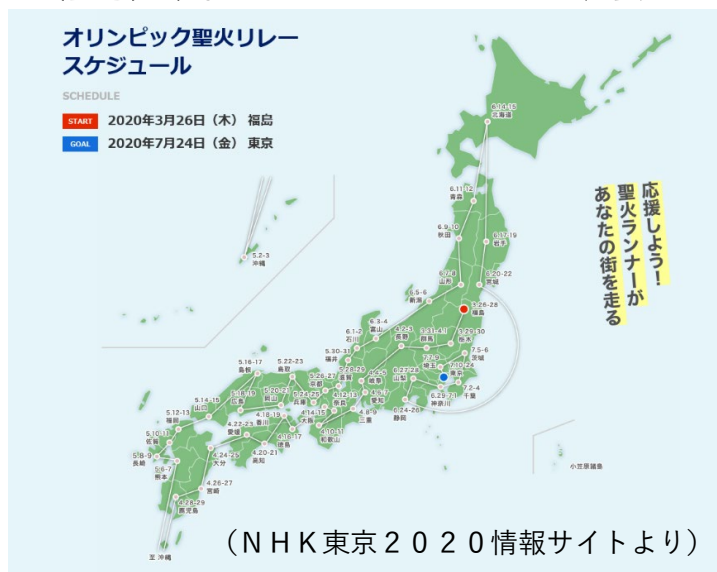
3 日本をひとつにつなぎます。日本が世界につながります。

大会のみならず聖火リレーや各種イベントを通じ、日本の魅力を再確認、世界に発信します。

4 共生社会の実現に貢献します。

パラリンピックの理念である共生社会の実現を、放送・サービスを通じて私たちも後押しします。

(参考) 東京オリンピック聖火リレー概要



47都道府県すべてを121日間で回る。原則1県2日間。福島・宮城・岩手と複数種目を実施する埼玉・千葉・神奈川・静岡は3日間、開催都市東京都は15日間実施。

1日あたりの聖火ランナーはおおむね80名から90名、1名あたりの走行距離は約200m。

毎日の最後には聖火到着を祝うイベントが開催され、その日の最終聖火ランナーが聖火を聖火皿に灯すセレモニーが行われる。

2020年	3月12日	ギリシャ・オリンピアで採火式
	3月20日	聖火日本に到着(宮城県東松島市・松島基地)
	3月20日~25日	宮城・岩手・福島で「復興の火」展示
	3月26日	Jヴィレッジから聖火リレースタート
	7月10日~24日	東京都内で聖火リレー